

指定管理業務点検・評価シート（平成30年度業務）

令和元年7月31日

施設名	鳥取県立倉吉未来中心	所在地	倉吉市駄経寺町212-5
施設所管課名	文化政策課	連絡先	0857-26-7839
指定管理者名	公益財団法人鳥取県文化振興財団	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

1 施設の概要

設置目的	人と人との交流を促進し、地域の活性化を図るため。
設置年月日	平成13年4月21日
施設内容	○敷地面積：21,117.63㎡ ○建物面積：16,401.81㎡ ○施設内容：大ホール（最大1,503席）、小ホール（最大310席）、第1～第10楽屋、リハーサル室、第1、第2練習室、セミナールーム1～9、アトリウム、団体事務局サロンほか
利用料金	http://cms.sanin.jp/p/miraichushin/2/3/
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	○毎月第1、3、5月曜日（当該月曜日が休祝日の場合は、その翌日の休祝日でない日） ○年末年始（12月29日から1月3日まで） ○施設・設備の保守点検を行う日

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	①施設設備の保守管理及び修繕 ②施設の保安警備、清掃等 ③管理施設の利用の許可、施設利用料の徴収等に関する業務 ④その他施設の管理に必要な業務 ⑤倉吉未来中心を利用した文化芸術の振興に関する業務 ⑥地域との連携
---------	--

3 施設の管理体制

（平成31年3月1日現在）

管理体制	正職員：14人、嘱託職員1人、非常勤職員：3人〔計18人〕
	<p>館長（正職員1）</p> <p>総務部〔事務・施設利用・文化事業実施〕 （正職員9、非常勤4） ※県民文化会館駐在職員含む（非常勤1）</p> <p>舞台技術室〔技術〕 （正職員6）</p>

4 施設の利用状況

利用者数（人）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	30年度		9,949	10,000	12,682	11,550	11,337	14,121	20,941	16,602	15,887	10,902	13,025	16,264
29年度		7,689	8,984	17,260	17,685	17,153	13,908	24,391	25,120	13,403	10,925	11,529	22,843	190,890
増減		2,260	1,016	△4,578	△6,135	△5,816	213	△3,450	△8,518	2,484	△23	1,496	△6,579	△27,630

利用料金収入（千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	30年度		6,337	2,108	2,537	4,372	3,914	3,054	3,011	4,120	4,534	1,878	2,231	3,239
29年度		3,600	3,922	3,835	2,885	4,811	3,137	3,678	6,337	4,883	1,674	2,724	3,839	45,325
増減		2,737	△1,814	△1,298	1,487	△897	△83	△667	△2,217	△349	204	△493	△600	△3,990

5 収支の状況

(単位：千円)

区 分		30年度	29年度	増 減	
収入	事業収入	利用料金収入	41,335	45,325	△ 3,990
		小 計	41,335	45,325	△ 3,990
	事業外収入	県委託料	97,629 (91,922)	97,629 (90,705)	0 (1,217)
		倉吉市委託料	78,404 (74,321)	78,404 (73,959)	0 (362)
		手数料・使用料収入	4,741	4,860	△ 119
		雑収入等	629	1,009	△ 380
	小 計	181,403	181,902	△ 499	
計	222,738	227,227	△ 4,489		
支出	人 件 費	87,308	84,853	2,455	
	管理運営費	125,640	131,006	△ 5,366	
	計	212,948	215,859	△ 2,911	
収 支 差 額		9,790	11,368		

6 労働条件等

確認項目	状況			備考	
	正職員	非常勤職員	嘱託職員(再雇用)		
雇用契約・ 労使協定	労働条件の書面による提示	・職員就業規則 ・労働条件通知書	・非常勤職員就業規則 ・労働条件通知書	左記に準じる	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	作成・届出済	作成・届出済	—	※常時10人以上の労働者を起床する場合は作成、届出が必要
	労使協定の締結状況	・時間外労働・休日労働に関する協定書			※労働基準監督署長への届出が必要な協定の有無
労働時間	所定労働時間	8時間			※幅がある場合は上限、下限を記入
	時間管理の手法	自己申告、使用者の現認			※タイムカード、ICカード、自己申告、使用者の現認などの別を記入
	休暇、休日の状況	<ul style="list-style-type: none"> 概ね4週間当たり8日間の週休日 国民の祝日に関する法律に規定する休日数(土曜日と重複する日を除く) 年末年始(12/29~1/3) 	<ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇 その他の休暇 有給：病気休暇、特別休暇、子の看護休暇 無給：育児・介護 	<ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇 その他の休暇 有給：特別休暇、子の看護休暇 無給：育児・介護 	左記に準じる
給与	給与金額	374千円	162千円	189千円	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	適	※適否を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年1回			
	産業医の選任	選任の要否：否	選任状況：なし		※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし		※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし		※規模の要件あり
	安全衛生推進者(衛生推進者)の選任	選任の要否：要	選任状況：総務課担当職員より選任		※業種・規模の要件あり

7 サービスの向上に向けた取組み

区分	取組み内容
利用申込 利用促進	<p>○県内の文化芸術活動推進と大ホールの利用促進を図るため、大ホール割引プランを継続した。 【大ホール舞台のみ練習割引】〈利用実績：10件〉 【大ホール4・5月平日割引プラン】〈利用実績：0件〉※割引プラン期間中が舞台設備改修工事のため大ホール利用不可</p> <p>○利用促進を継続して行った。 ・ホールを文化・芸術事業のために利用した過去の利用者へ、抽選申込受付の案内を送付し、次回の利用申込みを促進した。 ・平成31年4月から始まる新サービス等の案内状を利用者に一斉送付した。 ・年間を通して県外プロモーター、学校関係、官公庁、県内民間企業を訪問し、施設の利用促進、鑑賞公演のチケット販売促進を図った。 ○催事内容によって開館時間外対応や臨時開館など利用者の利便性を考慮し柔軟に対応した。</p>
情報発信	<p>・従来からある会館のホームページに加え、新たに会館独自のFacebook、Instagram、Twitterを立ち上げ、タイムリーかつ親しみやすい情報発信に努めた。特にInstagramにおいては着実にフォロワーが増えており、会館の情報媒体として認知されつつある。 ・倉吉未来中心でのイベント情報を、各種情報誌やソーシャルメディアを活用し、県内外へ広く発信した。(財団情報誌Arte、財団友の会メール会員、Facebook、関西文化.com、Lazuda、中部地域生活情報誌くららなど)特にウェブ広報については、掲載無料のイベントサイト(「いこーよ」「ジャングルズーム」など)を積極的に活用し、情報の周知に努めた。</p>
新たなサービス	<p>平成26年度から実施しているサービスは継続するとともに、平成30年度は下記のサービスを導入し利用者の利便性を図った。 【新規サービス】 ・Googleマップの屋内ストリートビュー導入 ・主要なセミナールームの天井に固定式のプロジェクターを整備 ・トイレシートクリーナーの設置場所の増設 【継続サービス(平成26年度からのサービスを記載)】 ・携帯電話等充電器設置(有料) ・アトリウムのWi-Fiスポット整備(無料) ・文化活動でホールを利用時、テーブル類の消耗品の無償提供 ・財団が所有するアートマネジメント関連図書の閲覧サービス ・ひざ掛けの主催者への貸出サービス(無料) ・加湿器貸出サービス(無料) ・姿見貸出サービス(無料) ・トイレシートクリーナー設置 ・お客様への利用申込書の基本情報入力サービス</p>
アンケート の実施	施設内にメッセージBOXの設置、また、施設利用者にアンケート(施設利用完了報告書)によって、一般来館者、施設利用者の意見を求めた。
運営懇談会 の開催	地域の賑わい創出のための事業等への取組や、施設利用のサービス向上のための意見を聴くための運営懇談会を年2回実施した。
舞台技術支援	県内の舞台技術者の人材育成及び創作活動の普及啓発による文化振興促進のため、施設利用者、文化活動者、教育機関、公立文化施設等に対して、舞台技術(ソフトウェア)及び舞台関連設備(ハードウェア)について相談、助言、情報提供、指導等を実施した。(施設利用者1件、文化活動団体1件、教育機関等2件、その他1件:計5件)
舞台技術講座の 開催	中部地区の高等学校演劇部員に対し、舞台技術基礎知識の習得機会として座学及び実技による舞台技術講座(照明、音響、舞台の3部門)を開催した(2回:参加者数43名)。元俳優による監修の元、模擬本番を行い前回より実践的な講座とした。

8 利用者意見への対応

利用者意見 の把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内にメッセージBOXを設置 ・施設利用完了報告書に利用者の意見を求める欄を設置 ・電話、FAX、Eメールによる意見等の受付 ・運営懇談会の設置・開催 ・県への「県民の声」による意見受付
----------------	---

利用者からの苦情・要望	対応状況
養生シートの汚れが気になった。	経年の汚れが目立っていたため、新たに養生シートを購入した。
アトリウムの2階の観覧席が年々のシミ等で黒くなっていてみずばらしい。	県の計画により、カーペットの張替えを実施した。
館内が迷路のようで、目的地が分かりづらい。	Googleマップの屋内ストリートビューを導入し、事前に館内の様子をバーチャル体験できるようにした。また、案内表示も利用者の動線に合わせてより見やすく改善した。
正面側から入ると「進入禁止」と「入口」の標識があり戸惑う。	駐車場の入口と出口を間違えて逆走する車両があるため、県の計画により標識と白線の改善を実施した。
リハーサル室の床がツルツルして転ぶ子がいる。	従来のワックス剤を変更し、別の滑りにくいものに替えた。

<p>利用者からの積極的な評価</p> <p>〈職員の対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧で親切に対応していただいた。 ・初めての利用だが、分かり易く説明いただいた。 ・機材取扱い説明、トラブル時とも親切に対応していただいた。 ・インターネット回線の仮設では大変お世話になりました。他の施設では対応が悪くて苦労しますが、未来中心は迅速に対応して下さる。 ・舞台職員はいつでもこちらのニーズに100%応えてくださる。 ・清掃員がすれ違い時に挨拶をされる。 <p>〈施設設備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンとプロジェクターの接続が簡単ですぐに使用できる。(セミナールーム1,3,7) ・キレイで使いやすい。 ・セミナールーム1の音響操作卓が1台になりスッキリした。 ・落ち着く洒落た和室に感動です。 ・事務用品があり助かりました。 <p>〈申込手続〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話で予約状況確認が出来て良い。 ・申込書の記入も特に困ることはなかった。 ・申込用紙ダウンロード、メール送信が楽。
--

9 指定管理者による自己点検

<p>〔成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項〕</p> <p>(利用者目線のフレンドリーな施設づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全管理と公平公正な管理運営に努め、利用者目線を第一としたサービスの向上に努めた。 ・館内が分かりにくいという利用者からのご意見に対し、目的場所への動線に合わせた案内表示の改善や、Googleマップの屋内ストリートビュー導入など、視覚的な改善を図った。 ・プロジェクターを使用する研修会等が増えており、主要なセミナールームの天井に固定式のプロジェクターを整備したことにより、パソコンとの接続や設定がスムーズになり利用者からも好評であった。 ・アトリウムに整備しているWi-Fiサービスに有害サイトへのフィルタリング機能を設定し、健全なWi-Fi利用環境へと改善した。 ・地域の賑わい創出、交流促進、子育て支援を図るために「地域活性化事業(楽演祭プロジェクト)」を様々な角度から実施し、気軽に文化芸術に触れる機会を数多く提供した。 ・ホールを身近に感じてもらうことを目的に、主に中部地域の小学生(親子)を対象としたホールのバックステージツアーを開催した。 ・七夕イベントやクリスマスイルミネーション点灯式への保育園参加や、小中学校の施設見学やユニバーサルデザイン学習の案内など、園児・学生が館イベントや運営を体験していただくことができた。 <p>(安心・安全な施設運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回の消防設備と避難誘導設備の自主点検、及び安全衛生委員会による定期点検等を行い、危険箇所を洗い出してその対策を講じた。 ・消防訓練を入居団体・委託業者を含め年2回実施し、火災発生時の初期消火・来館者の避難誘導・関係機関への通報体制を整えている。訓練の当日は消防署立ち会いによる改善点等の指導や救命講習開催など、より円滑で的確な消防・防災体制の構築を図った。 ・設備の点検・予防保全に努め、中長期整備計画を基に必要な改修・設備の更新を県へ要望、或いは会館で修理しながら施設の維持管理を行った。 ・倉吉パークスクエア内の施設(鳥取二十世紀梨記念館、鳥取県男女共同参画センター、倉吉交流プラザ、市営温水プール、食彩館、倉吉未来中心)による「倉吉パークスクエア会議」を毎月開催して情報共有を図るとともに、駐車場混雑時の対応を各施設と連携・調整を図りながら安全管理を行った。 <p>(効率的な施設運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の保守点検等業務委託を、県民文化会館との2館一括契約や複数年契約とし、経費削減を図った。 ・来館者が「快適に安全」に過ごすことができる環境を提供することを第一としながら、省エネルギー、省資源への取り組みとして、節電、節水等に配慮しながら施設の管理運営に努めた。 ・鳥取県版環境管理システム(T E A S)Ⅱ種の更新登録を行い、職員に対する環境配慮への意識啓発や、利用者へも節水や空調設定温度の協力を啓発した。 ・平成30年度より電力の調達先を制限付一般競争入札により決定し、電気料金のコスト削減を図った。 ・4月～8月の舞台設備改修工事により、大小ホールが利用できない期間があり、利用料収入が大幅に減少した。夏季はホール内の工事作業環境のために冷房運転をしたことが影響し、ホールの利用日数の割には光熱水費の削減を図れなかったが、小修繕を職員による直営で行うなどの努力により経費節減に努めることができた。
--

（地域との連携、文化芸術拠点としての活動）

・倉吉未来中心のミッションである「人と人との交流促進及び地域の活性化」を達成するため、「交流促進」「次世代育成」を事業方針とする地域活性化事業（楽演祭プロジェクト）及び文化振興財団主催事業、とりアート中部地区事務局業務に取り組んだ。

「交流促進」では、中部地域の様々な団体、アーティストとの連携・協働により、地域や住民に活力を与えるとともに、福祉施設での実施や中部地域住民の作品を一堂に展示するなど、人と地域の交流や地域コミュニティを拡げることを目的とした。

「次世代育成」では、アーティストによる子どもや家族が楽しめる公演や高校生への舞台講座などを通じて、次世代の担い手・鑑賞者・活動者を育成し、未来へ繋ぐ地域づくりを行った。

【主な地域活性化事業（楽演祭プロジェクト）の取組】

①鳥取県出身の若手プロクラシック演奏者を起用したオリジナルの親子向けコンサートでは、若手アートマネージャーや地元室内合奏団、三朝バイオリン美術館とも連携し、上質なクラシックコンサートの鑑賞と体験の両面で気軽にクラシック音楽や弦楽器に触れる機会を提供した

②「母子支援施設」や「こども食堂」への訪問コンサートを実施し、来館してホール等で鑑賞をすることが困難な人々に、県内アーティストによる質の高い文化芸術に楽しむ機会を提供し、心にうるおいやゆとりをもたらすとともに、福祉とアート、その周辺地域・関係者との交流を促進した。また、倉吉未来中心運営懇談会において、地域活性化事業を実施する上で各委員の専門分野の意見を求めるとともに、施設訪問コンサートのコーディネート役として協働して実施することができた。

③子育て応援プログラムとして、地域の文化活動団体の出演による未就学児から気軽に楽しむことができる無料のコンサートを開催し、中部地域では鑑賞する機会の少ない子どもを対象にした公演に、大勢の子ども連れの家族に楽しんでいただいた。

④気軽に文化芸術に親しむ機会の提供と、地域の文化活動者・団体への発表機会の提供として、オープンスペースでの無料のコンサートの開催や、来館者参加型の季節の館内装飾（七夕、クリスマス）も継続して実施し、館内の賑わいづくりを図った。

⑤鳥取県に所縁のある漫画作品を題材にしたテレビドラマのサウンドトラックコンサートを、「ライブハウススタイル（平土間）」という小ホールの特性を活かした、観客とアーティストの距離が近いプレミアムなライブ企画として開催した。実施にあたっては、「まんが王国とっとり（特別コーナーの設置）」やドラマのメインテーマである「食」にあやかった中部地域の飲食店との連携企画を実施した。

⑥アトリウムの一部にある情報コーナーを「アートギャラリー」として改装し、主催公演と連動した企画展や障がい者アートの作品展など、県立美術館の建設を見据えながら地域と連携した取り組みを推進した。

・文化振興財団主催事業及びマスコミ特別共催事業として、バレエ、フュージョン、クラシック、狂言などの質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供した。併せて、児童養護施設に入所する子どもたちを公演へ招待し、自力での公演鑑賞が困難な子どもたちに鑑賞の機会を提供した。

・鳥取県総合芸術文化祭・とりアート」の中部地区企画運営委員会事務局として、事業の円滑な推進と実行委員への助言、サポートを行った。併せて、多様な事業を通じて、とりアートの目標である県内の文化芸術活動の裾野拡大と文化芸術の質の向上を図った。

【現在、苦慮している事項】 【今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項】

【現在、苦慮している事項】

・施設設備の経年劣化が進んできているため、予防保全に努めるとともに鳥取県の中長期保全計画を基に計画的な更新に努めているが、予期せぬ故障等に対し、利用者に影響を与えない即座な対応ができるよう取り組んでいきたい。

・大ホール閑散期である4月～6月が舞台設備改修工事のため利用できなかったため、大ホールの利用率は53.5%と良好であったが、閑散期の利用向上のための工夫や対策を講じ、年間を通しての利用率向上を図りたい。

・改修工事に伴う施設の一部休館により、利用料収入のみならず自動販売機やレストラン等の売上にも影響が生じる。今後の大規模改修に備え、効率的な運営と新たな資金調達等の対策が必要である。

【今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項】

・倉吉未来中心のミッションである「人と人との交流促進及び地域の活性化」を達成するために、文化芸術を一つのツールとして、文化活動者、異業種、教育機関、まちづくり団体等との連携の下、地域のこれからの活力ある「まちづくり」と心豊かな「ひとづくり」を目指す『未来つながるプロジェクト』を立ち上げる。「まちづくり」では複合施設の利点を活かした人や地域の交流推進、コミュニティや生き甲斐の創出、まちの賑わいづくりに取り組む。「ひとづくり」では多世代の協力を得ながら、特に地域の将来を担う子供たちが気軽に文化芸術に親しむ環境整備に取り組む。

・現在行っている福祉施設との連携（「こども食堂」や「母子支援施設」への訪問コンサート）を継続しつつ、更に異分野の施設との連携を図る。

・県立博物館との事業連携や展示企画の充実など、2024年度の県立美術館完成を見据えた取り組みを強化する。

・利用者からの高い満足度は得られているが、満足度を高めている要因や不満とを感じる要因が分析できるようなアンケートへと見直し、利用者ニーズの変化に合わせたサービスの充実を図っていく。

・現在の危機管理マニュアルを見直し、あらゆる災害を想定したマニュアルの作成と行動訓練の実施。

10 施設所管課による業務点検

項目	評価	点検結果
[施設設備の維持管理・緊急時の対応等] ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	4	○地震避難訓練を行うなど、安心・安全な施設運営に努めている。 ○施設・設備の保守管理・修繕については、地震の影響による施設の雨漏れなどが頻発しているが、被害を最小限にとどめる対応が行われており、催事中止など利用者に迷惑をかけるような事態は生じていない。 ○警備については、事故や問題等の発生もなく、また清掃についても、利用者から清潔、きれいといった声も多く寄せられている。
[施設の利用の許可、利用料の徴収等] ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施	3	○適切に対応されていると認められる。
[その他管理施設の管理に必要な業務] ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	4	○Googleマップの屋内ストリートビューの導入やセミナールームに固定式プロジェクターを整備するなど、利用者の利便性を向上させる取組を行っている。 ○施設の利用や演出などの適切なアドバイスや機器の操作説明など利用者への丁寧な対応を行っている。 ○施設周辺の清掃活動に取り組むとともに、利用者に対しても環境に配慮した温度設定の協力を呼びかけている。
[利用者サービス] ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	4	○音響改修工事で大ホールを約3か月閉館したため、前年と比べ全体としては施設の利用者数は163,260名と減少(△27,630名)し、利用料収入も41,335千円と減少(△3,990千円)した。今後も改修工事のためホール等が利用できないことが見込まれているが、利用者の動向やニーズを分析して、利用者数を増やす取組に努めていただきたい。 ○利用者の要望に沿った早朝開館や、利用施設の鍵を15分前倒して貸し出すなど、利用者サービスに取り組んでいる。 ○利用者アンケートを通じて、ニーズを汲み取った対応を行うとともに、運営懇談会などを通じて地域との連携に取り組んでいる。
[活性化事業の実施状況] ○実施内容	4	○地域に愛され、人や文化の交流拠点となるよう、地域に根差した会館づくりを目指し、地域の文化芸術活動者等と協働して、以下の事業を実施した。 ①地域連携・協働公演 県在住・出身の弦楽プロアーティストによる園児・児童を対象としたファミリー向けクラシックコンサートを実施した。(年1回、407名) また、母子生活支援施設や児童養護施設を訪問し、コンサートを開催して、音楽を身近に感じていただいた。(年3回、157名) ②ハッピースマイルコンサート(年1回:284名) 小さな子ども(親子)を対象としたコンサートを開催し、親子で文化芸術に触れ合う機会を提供した。 ③みらい音楽堂(年3回、336名) 誰もが気軽に楽しめる機会の提供と中部地区の活動者が成果を発表する場として実施した。 ○アトリウムの一隅にある情報コーナーを「アートギャラリー」として改装し、主催事業と連動した企画展(星取県 星空フォトギャラリー)や障がい者アートの作品展など、県立美術館の建設を見据えながら地域と連動した取り組みを推進した。 ○ほか、七夕イベントに保育園参加、アートギャラリー、ホール探検ツアーなど、地域の方々などに施設に足を運んでいただける催しを実施した。
[収入支出の状況]	3	○利用料収入(41,335千円)は前年度より減少(3,990千円)し、事業計画額(47,396千円)も下回った。ホールの音響改修工事があり3か月閉館したことが主な要因だが、円滑な事業実施のため特に閑散期の利用促進に努めていただきたい。
[職員の配置]	3	○協定の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
[会計事務の状況] ○不適正事案や事故等の有無 ○業務報告書(月次)における内部検査結果 ○利用料金等に係る適正な会計事務 (利用券、利用券管理簿の管理など) ○必要な規程類の整備 (会計規程、協定書等で整備が定められている規程など)	3	○適切に対応されているものと認められる。

<p>[関係法令の遵守状況]</p> <p>○関係法令に係る行政指導等の有無等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働関係法令 (労働基準、労働安全、障がい者雇用等) ・環境関連法令 (大気、水質、振動、廃棄物等) ・その他の法令 <p>○県内発注（鳥取県産業振興条例）</p>	3	<p>○関係法令に沿って、適切に対応されているものと認められる。</p> <p>○環境配慮への意識啓発をはじめ、施設周辺の清掃活動にも取り組んでいる。</p>
<p>[県の施策への協力]</p> <p>○障がい者就労施設への発注</p>	4	<p>○アトリウム喫茶の運営を福祉団体に委託し、利用者の希望があればコーヒーなどのケータリングサービスの案内も行っている。</p>
総 括	3.5	<p>○「交流促進」「次世代育成」を事業方針とする地域活性化事業の展開、柔軟な施設活用及び利用者への丁寧な対応を継続的に行っていることは評価できる。</p> <p>○中部地域における文化芸術の振興や地域の文化芸術団体・関係機関等との連携・協働を推進し、引き続き賑わいのある地域活性化の取り組みを進めていただきたい。</p>

- 《評価指標》 5：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。
- 4：協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。
- 3：おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
- 2：協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。
- 1：協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、計画・目標、前年度実績を大きく下回っているなど、大いに改善を要する。
- ※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。